

令和6年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	シンコースポーツ株式会社 代表取締役社長 石崎 健太
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の運営

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは当該日の直後の休日でない日、年末年始(12月29日～1月3日)及び施設点検日を除く毎日。

- ・浴室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昼に1時間の供用中止を行っていましたが、令和6年度から通常の営業を行いました。また、館内での食事が出来るよう規制を緩和しました。

開館日数：304日（令和5年度開館日数306日）

開館時間：午前10時～午後9時

・施設使用の受付

年間使用者数

	令和6年度	令和5年度	増減
総使用者数	50,022人	40,924人	+9,098人
浴室使用者数	32,175人	25,820人	+6,355人

新規登録者：420人（令和5年度336人）

会議室等使用者数：8,857人（令和5年度7,465人）

・施設の補修、改善

脱衣所ロッカーの蝶番を修理しました。（市でも、第2集会室と会議室のロールカーテン等の補修を行いました。）

・使用者へのサービス

浴室サウナ室に温度計を設置したほか、座高の高い浴室用のイスや、浴室の脱衣所に杖置きを設置しました。

・衛生管理対策

ペーパータオルとアルコールを設置し、浴室とトレーニング室及びらくらく広場の利用者の方に随時消毒を実施していただきました。

・自主事業の実施

令和6年度は、事業計画に沿って、イベントや教室を開催することができました。

「夏祭り」は初めて食べ物の販売をし、「感謝 DAY」ではダンスパフォーマンスを実施するなど、来館者の皆様に喜んでいただけるよう、新しい取り組みを実施いたしました。その他の自主事業につきましても、多くの方からご好評をいただき、新規登録者や利用

者の増加に繋がりました。

幅広い年齢層の方の健康促進に向けて、今年度の「運動キャンペーン」は期間の延長など新たな取り組みを実施しました。初めてトレーニング機器を利用される方を対象にした初回講習は継続して行い、利用者の定着・増加を図りました。

() は、令和5年度実績

事業名	目的・教室名	開催日	参加者数
ラウンドフィットネス 1回200円	・高齢の方の運動推進 ・健康寿命の向上 ・生活習慣病予防	火～日 10:00～ 20:00	1,957人 (1,563人)
ワンコインレッスン 定員15名 1回500円	ピラティス、のびのびストレッチ、健康体操、アンチエイジングエクササイズ、リラックスヨガ	火～土 187教室 (319教室)	1,318人 (1,277人)
合 計			3,275人 (2,840人)

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・年間総使用者数は前年度に比べて9,098人(約22.2%)増加しました。
一日あたりの平均総使用者数は165名であり前年度に比べ31名増加しました。
- ・浴室使用者数は、前年度に比べ6,355名(約24.6%)増加しました。浴室の1日あたりの平均使用者数は約106名で、前年度に比べ22名増加しました。

2. 収支決算概要 () は、令和5年度決算額

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 ※ (市が指定管理者に支払った金額)	17,300,000 (17,300,000)	人 件 費 (指定管理者が雇用した社員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	15,410,850 (15,174,601)
そ の 他	0 (0)	施設管理費等 (施設の保守点検費、修繕費等)	3,105,234 (2,742,641)
自主事業による収入	1,290,769 (1,054,147)	自主事業による経費	1,199,314 (1,398,760)
収入計 (①)	18,590,769 (18,354,147)	支出計 (②)	19,715,398 (19,316,002)
収支決算	▲1,124,629 (▲961,855)		

【収支決算に関する補足説明】

- ・収入については、前年度に比べ自主事業による収入が236,622円増加しました。これは、教室事業などの利用者増によるものです。
- ・支出については、前年度に比べ支出計(②)が399,396円増加しました。主な理由は、人件費及び物価高騰による事務経費の増加です。

※ 施設使用料について

- ・市の歳入になるため上記の指定管理料には含まれませんが、施設使用料の収入総額は2,072,000円となり、前年度の1,622,950円に比べ449,050円(約27.7%)の増収となります。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和7年7月15日に環境審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
・高齢の方など施設利用に配慮を要する人に対して細やかな対応がされており、平等な利用の確保及びサービス提供がなされていました。 ・使用者の要望を日頃からこまめに聞き取り、要望に応じた取り組みを行ったほか、使用者へのアンケートを実施し、その意見を事業に取り入れるなどサービスの向上に努めていました。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
・ごみ処理施設に併設されている施設として、ごみ削減や資源有効活用を考える契機となるようリサイクル本のコーナーを設置し、クリスマスにはエコツリーを作成するなど、啓発に努めていました。このエコツリーは、毎年工夫を凝らして作成されており、今年度はペットボトルから作成したベルに絵や色を付けたり、シールを貼るなどして装飾し、ツリーに飾り付けていました。近隣の保育園に作成を協力していただくなど、園や園児との交流を深めていました。 ・体組成測定会や感謝 DAY では、例年の実施内容を踏襲するだけでなく、来館者に満足していただけるよう、新たな企画に取り組んでいました。 ・使用者から提供された手工芸品等を館内に展示し、ヤマトンを季節に合わせて展示するなど使用者の施設への愛着を深める工夫が見られました。 ・今後も、施設の設置目的を踏まえ、市民の健康増進、福祉、交流活動に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
・施設の管理、保守点検等は仕様書に沿って適切に行われています。 ・浴室については、定期的な水質検査等を実施し、衛生面の管理を適正に行っています。 ・使用頻度の高い設備や器具は常に点検を行い、メンテナンスが行われています。また、施設利用後の消毒を徹底するなど衛生面にも配慮しています。 ・節水や節電、資源の分別に取り組むとともに、掲示物などで利用者に対しても環境負荷低減の周知を図っています。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
・浴室使用者に、受付窓口での声掛けや掲示物等での注意喚起を行っているほか、館内に設置した血圧計の利用促進、浴室内での巡視に合わせた使用者への声掛けなど、適切な人員配置により使用者の安全確保に努めています。 ・上級救命、AED、救急講習などを受講された従業員を配置するとともに、消防訓練や救命講習などに積極的に参加しています。また、館内の非常設備やAED、非常用ブザー等の点検を毎月行い、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制づくりに努めています。 ・指定管理者独自の社員研修を実施するなど適正な研修体制が確保されています。 ・シンコースポーツ㈱は全国 536 施設、130 自治体の施設の管理運営を受託しており、施設の管理運営を安定的に行う上で概ね健全な財務状況であると判断しています。また、指定管理者である本社経理部門の内部監査員による定期監査の実施など、適正な管理を行っています。